

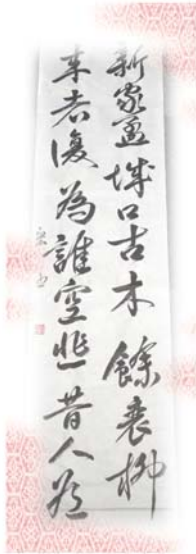


(今回の題字は小柳静枝さんです)

## センター初の快挙

### 厚生労働大臣賞受賞

日本肢体不自由児協会主催の第 35 回「肢体不自由児・者の美術展」書の部において、村山宏様が厚生労働大臣賞を受賞されました。応募作品 379 点の中から最高賞に輝き、12 月 14 日(水)に東京芸術劇場にて、本会総裁常陸宮殿下並びに同妃殿下ご臨席のもと表彰式が行われ、出席してきました。



村山宏様が長年にわたり書道に真摯に取り組み、努力してきた成果であることは間違いありません。そして今回新たな作風に挑戦したことも、

この名誉ある受賞につながったのだと思います。本当におめでとうございます。

### < 絵画の部でも受賞 >

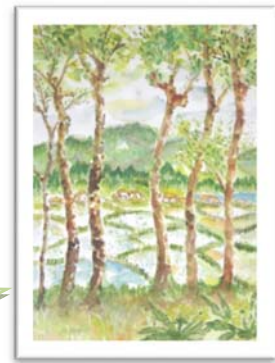


< 佳作賞 >

村山千枝子様  
「赤い牡丹」

< 努力賞 >

竹内ハル様  
「はざ木の里」



## 平成28年度 肢体不自由児・者のデジタル写真展受賞者

金賞

竹内 ハル様 「じいちゃん 人生バンザイ」

五十嵐勝一様 「スピード」

銀賞

江村 克巳様 「お花日和」

金沢フサ子様 「見て！見て！！」

村山千枝子様 「気持ちいいよ」

銅賞

金澤 弘一様 「村の入口」

福島クニ江様 「雨上がりのお花畑」

応募数 781 点  
の中から 7 作品  
が受賞されました！！



< 竹内ハル様 作品 >

# ペットボトルキャップ モザイクアートに挑戦!

第 15 回新潟県障害者芸術文化祭工芸部門に出展!! グループ制作としてキャップアートに挑戦しました。マスコットキャラクター、新潟県のトッキッキと十日町市のネージュくん。様々な障害を持った方が心を一つに「大好きな新潟、美しきふる里十日町に想いを込めて!!」をキャッチフレーズに制作しました。

何もないマス  
目の用紙から



かわいい  
トッキッキが  
出来ました!!

ペットボトルキャップに両面テープを付け、マス目に貼り付けます。

制作期間約半年  
たて 160 cm  
よこ 445 cm  
キャップ総数  
約 6,700 個  
がんばりました。



微調整が難しいです。

ネージュくんが完成!

受賞はできませんでしたが、達成感でいっぱいになりました。



## 妻有福祉会初参加!! 「RUN伴」2016.9.23

RUN伴 (ランとも) とは、「認知症の人に何か支援するのではなく、認知症の人と一緒に何か目標を達成したい」そうした想いから生まれ、2011年に第1回、函館一札幌間 300 キロをつないで行われました。

認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しずつリレーしながら一つのタスキをつなぎゴールを目指すイベントです。

今年は妻有福祉会から職員が参加し、当センターからも2名がやまびこからセンターまでの 1.5 kmを力走しました。



# 秋季遠方外出/季節行事

季節の外出、行事に参加することで  
少しでも日々の生活の活力となることを願っています。



## <9.30 ミニ運動会>

平成園を会場に、玉入れ、借り物競走、パン食い競争などで盛り上がりました。「自分はこんなことができるんだー」と改めて気付くことができました。



<9.25 ふれあいクラブ  
(日中一時支援)>  
道の駅 パティオにいがた  
見附市大風伝承館見学



## <10.21 ひまわりの会>

清津峡散策・グルメ街道まつり  
(昼食)



## <10.28 写真教室>

弥彦公園・弥彦スカイライン  
真っ赤なもみじではありませんでしたが、風情ある景色は心に残る撮影会になりました。



## <11.8 地域活動支援センター(Ⅱ型)>

道の駅 パティオにいがた  
見附市大風伝承館でミニ凧作り体験  
長岡すたみな太郎でバイキング(昼食)



## <12.8 クリスマス・忘年会 in ベルナティオ>

豪華な会場、豪華な料理、豪華な演芸?(職員)、平成 28 年を振り返り、クイズで脳を活性化し、プレゼント交換で胸ときめかせた一日となりました。いっぱい笑いましたね!!

# 教室紹介(折り紙)

折り紙教室講師 羽鳥 輝男

## 「折り紙との出会いと教室について」

私が折り紙に出会ったきっかけについて話をしたいと思います。

22歳の時、小千谷総合病院に2ヶ月ほど入院した事がありました。同じ病棟に入院していた患者さんで、折り紙でクス玉などを作り、病室にきれいに飾っていた方がいました。私はそれに興味を持ち教えてもらったのが、折り紙との出会いです。

60歳から5年間身体障がい者福祉センターに運転手として勤務し、利用者の皆さんと一緒に過ごしている中で、折り紙を教える機会がありました。私が少し折り紙に詳しいということで、当時の柳センター長さんに教えて欲しいと頼まれ、始めたのが身障センターでの折り紙との出会いです。

センター退職後も時々ボランティアとして教えていましたが、前江村センター長より、折り紙教室の講師として月1、2回ほど教えて欲しいと頼まれました。今までどおりボランティアでいいと断りましたが、是非にとお願いされ、平成26年から引き受けることにしました。教室といっても皆さん知っている利用者様ばかりなので、楽しい時間を過ごしています。折り紙のクス玉などは結構難しい物が多いのですが、器用な人が多く覚えも早くて驚いています。

「家に帰っても、今までは何もすることが無く毎日がつまらなかったが、折り紙を覚えたら毎日が楽しい。」「作った折り紙を友達や兄弟に贈ったり、子供や孫にプレゼントして喜ばれている。」そんな話を聞くと、私も少しは皆さんの役に立つ事をしているのではないかと自己満足しています。

指先を動かす事は健康にも良いので、無理のないように楽しみながら続けて欲しいと思います。職員の皆さんには、色々と迷惑をかける事が多いと思いますが、これからも皆さんと一緒に元気で楽しい教室にしたいと思いますので、宜しくお願いします。



## ★特定非営利活動法人 NPO・TASC様より奨励金交付★

「全国肢体不自由児・者の美術展等多数入賞、厚生労働大臣賞受賞」にたいし奨励金の交付が決定し、12月19日に交付式に出席してきました。NPO・TASCは地域の文化、芸術又はスポーツの振興を図るため、各種支援活動を通して、街にゆとりと潤いをもたらす、地域の活性化と社会全体の利益増進に寄与することを目的としている会です。センター利用者様の日々の創作活動が評価されたことは、今後の活動の励みとなることでしょう。

～お知らせ～

妻有福祉会後援会より  
マッサージソファを  
寄贈していただきました。  
機能性に優れ、座り心地が  
良く、癒しの空間になるこ  
とでしょう。(2F 図書室)



ふれあい23号制作 水落